

9月保健指導

ケガについて(5歳児クラス)



夏が終わり外で遊ぶ機会が増えると、ケガも増えてきます。

ケガなく安全に遊ぶために、遊具の遊び方についてみんなで考えてみました。



「砂場」「すべり台」「鉄棒」「うんてい」「ジャングルジム」のイラストを見ながら、どんな危険があるか、どんなケガをするか、安全に遊ぶにはどうしたらいいか、みんなたくさん発表してくれました。



ケガをしたときの対応についても、「擦り傷はばい菌が入らないように水で洗う」「ぶつけた時はすぐに冷やす」「先生に言ってから保健室に行く」と子どもたちはよく理解していました。
鼻血の時は、下向きで鼻をつまむということも学習しました。



縄跳びもとても上手に跳べるようになってきた5歳さん。
縄を持ち運ぶ時には、ひっかって転ばないように、結んだり、折りたたんだりして持つことも理解していました。



最後に、水筒の持ち方についても伝えました。これから、お散歩や遠足もあります。斜め掛けにした水筒での事故を防ぐため、水筒を斜めに掛ける時には、必ずお尻の方で持つことを約束しました。

これからもルールを守って安全に楽しく遊んでほしいと思います。